



2022年6月1日
社会福祉法人清流
さつきの家
施設長 小川裕子

「さつきの家」だより

6月です! さつきの家は、地域のみなさまのおかげで無事に2か月経過しました。玄関のアジサイが、梅雨が近いことを知らせてくれています。さつきの家に訪れてくださるみなさまの温かで優しい視線に支えられて、元気に毎日を積み重ねられています。感謝♡

～障害って、何だろう?～

「さつきの家」は、**障害者の生活介護の事業所**です。そもそも「障害」って、何でしょう。身体が思うように動かさない・耳が聴こえない・目が見えないなど、外から見える身体そのものに現れるもの(身体障害)。思ったことを言葉にすることが難しい。考えることが難しい。だから、字が書けない・計算が出来ない→学校のお勉強は苦手など、外からは見えない内面に困難を抱えている(知的障害)。人の気持ちを想像するのが難しい。見通しを持って行動するのが難しい。周りの空気が読めない。だから、人と上手に付き合えない(発達障害)。一言で「障害」と言っても一人ひとり、抱えているものの大きさ、幅は千差万別、一人ひとり抱えている障害は、様々で、そして一人ずつ違います。

「障害」が、人と人を隔てる「不便なもの=壁」ならば、どうすれば、その「壁」を小さく低くすることが出来るのでしょうか。ここに私なりの障害児保育の世界で獲得した方法(私流)を、ほんの少し紹介してみます。

身体障害ならば、その不便さを補う「道具」があれば、不便さはぐんと軽減されます。車イス、障害に応じた食器、安全なスロープ・段差の無い道、などなど。

知的障害ならば、その人が分かる「発達段階に応じた知らせ方」で、伝える。絵で示してみる。分かりやすい単語で、はっきりと元気よく肯定的に伝える。

発達障害で周りの空気が読めなければ、「大丈夫!大丈夫!」と、安心できる環境の中で、広い心でまるごと包んで、失敗もすべて、まああるく、温かく受け止める。

障害があっても、必ず分かり合えます。必ず仲良しになれます。だって、みんな同じ人間! だもの。気持ちが通じ合えば、そこにはもう「障害」はありません。特に、人を信じる力を持つ「さつきの家」の彼らとの毎日は、楽しくてたまらない。いつだって笑えちゃう! まだまだ一緒に生きていたい。頑張りたい! そう思える素敵な毎日です。

きょうされんの販売協力をお願い

きょうされん＝日本の障害者に対する支援をする事業所の全国連絡会です。一つひとつの作業所は、小さなものですが、たくさん集まれば、こんなにすごい販売が出来ます。福祉への温かな気持ちが、「さつきの家」の仲間のボーナスにつながっていきます。詳しくは、後日配布予定の「きょうされんのパンフレット」をご覧になり、ぜひお申込みによるご協力をお願いします。

紹介「可部つちくれの家」の新鮮野菜



さつきの家の本部は、安佐北区三入南にある「社会福祉法人清流可部つちくれの家」です。そこには、地域のみなさんから託された広大な畑があります。そこで、就労支援 B 型の仲間 5 名が、畑を耕し生産を継続させています。木曜日のパン販売日に、ときどき彼らの新鮮な「野菜」も販売しますので、どうぞお楽しみに！！

仲間の誕生日

Y・Rくん (6/19) 19歳のお誕生日おめでとう！

みんなのために、地域のみなさまのお宅に「ポスティング」をしています。側弯の手術の後ですが、動ける自分の力をみんなのために、率先して見せてくれている姿に、青年の潔さとパワーが溢れています。平和を愛し、争うことは嫌います。みんなが穏やかでいてくれるよう、持ち前の明るさとバランス感覚で、「和」を作り出してくれています。

事務より

- ・本日実績票を配布しております。ご確認よろしく願いいたします。また実績票・請求書等でご不明な点は「可部つちくれの家」までお問い合わせください。
- ・実績票に使用している印鑑（お預かりしている物）を小さい訂正印に変更したいと可部つちくれの家事務より連絡がありました。お手数をおかけいたしますが、ご準備をよろしく願いいたします。

※「さつきの家だより」は、地域のみなさまに理解していただきたいという願いを持って、定期的に発信していきます。ご意見等聞かせていただくと幸いです。

連絡先：社会福祉法人清流「さつきの家」 082-942-4778（電話）

082-942-4779（FAX）

satsuki-himawari@galaxy.ocn.ne.jp（メール）